

正田洋一 議員レポート

ずいぶんとさむくなり
ました。みなさん
お元気ですか！



正田洋一事務所

〒723-0062 三原市本町 2-11-12

TEL 0848-63-0085 E-mail info@shoda-yoichi.jp HP www.shoda-yoichi.jp

第12号

正田洋一「日々の絆」その2

1 さぎ100 (さぎしま100キロウォーク) へ参加しました！



佐木島の人々がいっぱい手伝ってくれています。
本当にうれしいかぎりです！

10月15日、さぎ100へ参加致しました。昨年が続いての参加で、昨年は90キロ超えたところでタイムアップ。今年は、体重も6キロ落とし、万全に完走のつもりでした。しかし、残念ながら36キロでリタイア。気合いが入りすぎて、速歩し、足の裏が水ふくれとなり、歩けなくなってしまいました。準備と自分のペースは大事です。いい勉強になりました。島の人たちのおもてなしと運営に感謝です。来年も懲りずに挑戦します。

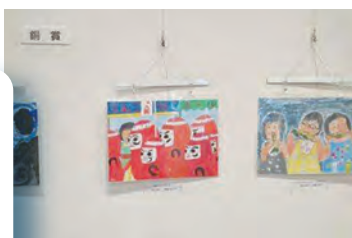


こんなにきれいな夕暮れが見れましたよ！

2 MOA児童作品展で！



どの子どもたちの作品も力作ばかりです。イメージョンをふくらませるってすごいな！私ももっと豊かな感性が必要だと思いました。



MOA美術館三原支部主催の児童作品展の副実行委員長をさせていただきました。この作品展は毎年、全国400カ所で、日頃子どもたちが取り組んでいる創作活動の励みとするために行われています。今年は、表彰式で、市長、教育長とともに賞状授与、三原テレビ出演などをさせていただきました。子ども達の感想文に感動し、大変うれしい思いをしました。関係者の皆様に感謝です。

3 白竜湖グリーンマラソンに今年も参加！

11月6日に白竜湖グリーンマラソンに参加。昨年はさぎ100と同日開催だったので、参加できなかったのですが、今回で5回目。今年も仲間と共に参加です。楽しく走らせていただきました。仲間と朝練で筆影山を走ったのもいい思い出です。大和の人のおもてなしにも感謝です。市外から多くの人に来ていただける素晴らしいイベントです。



10キロの部門で無事完走できました。タイムはおいといて(笑) 仲間と一緒にみなさんの応援を受けれたこととても感動しました！

定例議会報告

議会ではしっかりと
発言しています！



本町の倒壊した神社（危険空き家）の対応を急げ！

Q: 三原小学校北側、本町の神社（危険空き家）が、倒壊した。過去からずっと所有者との対話に市役所・町内も取り組んできたが、応じてもらえなかった。また、行政も、面談・指導・勧告・命令・強制執行の段階の内、指導までしか行っていなかった。民地の問題だからということで、市民の生命と財産を守るという視点が足りなかったのではないかと。個人の財産であっても危険度に応じて、勧告・命令、強制執行ができるのは行政だけである。どのように考えるか。

A: 当該神社については、文書送付4回、指導1回の対処をしていたが、宗教的なものを理由に対処を避けられていた。しかし、8月25日に倒壊し、隣家に被害が出ている状況で、3回の指導を行った結果、廃材を取り除くとの確認をした。今後と所有者との適切な指導を行っていく。また、措置の実行が行われない場合は、勧告等、対応を強化する。

●まとめ

この段階での問題点は2点。行政は倒壊するまで対応ができなかったこと。もう一つは、この件は一つの事例に過ぎず、他の物件についても同様に除却を進めて行政指導力を今後、どうつけていくかだと思います。この付近については、本件の解決だけでなく、今後とも取り組んで行く課題だと考えています。



昭和56年に華々しくデビューした駅前再開発
三原ペアシティだったのだが。

駅前西館をどうやって活用する？

Q: 駅前東館跡地活用の方向性が一定程度でした。私は、必ずしも賛成ではないが、議会の議論の経過を尊重した上で聞く。西館はますます空洞化が進むが、歴史館、健康増進施設は、暫定活用であり、5年、10年の先は見えない。また、西館について、市は約60%の所有者でもある。東館を片付けてからと考えるなら遅すぎる。何をどういつから検討するのか？

A: 西館の活用については、暫定活用後の活用については喫緊の課題と認識している。今年度中にその方向性をまとめ、議会および市民の皆様へ示す。公共施設の統廃合・複合化、集客や賑わい創出の視点を持って取り組みたい。

●まとめ

今回の質問では、課題認識をどうもつかの質問のつもりでしたので、第1段階の質問として、まずまずの答えをもらったと思います。今後、どのように活用していくかを年度内に示された後、意見をしていきたいと思えます。駅前活用については、様々な意見の中、丁寧に市民の皆様のお話をたくさん伺いながら、議論に望んでいきます。



瀬戸内三原 築城450年事業のひとつでペアシティ西館
1Fにみはら歴史館がオープンした。

ココに注目!

Yoichi column

こだわりをいわせてください!

私個人の思いをここに書かせていただきます。
是非ご意見、ご指導ください。

首長と議員と三原市の各課題!

7月18日に書いたブログをもとに記事にしています。その当時、都知事選挙が話題となっていました。首長と議員の関係性について注目をされていました。そもそも議員が力を持つのは、個人の経験・力量のだけでなく首長との近い関係があります。そもそも議員は、首長の仕事のチェックをするチェッカーが一番の役割です。それを三原市に置き換えれば、市長と議員の関係性に変化が現れている兆候が見られ、チェック機能が甘くなっているという証拠に一例として秦森康屯美術館などの提案が進んでいったのだと感じています。私は、ある議員と共に一部の会派の方との対話を通じて、なんとか断念に持っていかれたと感じていますが、途中、土地購入及び建設を押し切られそうな手応えでした。

また、今後もたくさんの懸念案件を持っています。具体的には、言及しませんが、なぜ、「あの事業が予算化されるのか?」「施設整備が行われるか?」「あの施設が競争入札になるのか?」ということが、水面下で進んでいる情報も聞きます。

私がこのような議論を、レポートやブログへ掲載する理由は、首長とのなれ合いでいいと思ってない案件を、仕方ないということで議決してしまう議員を牽制する意図があります。

議員は民意に敏感です。少し物議は醸すかもしれませんが、情報を公開しながら、正しく議論していきたいと思います。

秦森康屯美術館の問題は、小坂町への建設(予算約1900万円)は断念することが決定しました。

紆余曲折があったこの問題ですが、賢明な結論が出ましたとブログに書いたところ、賢明でなくて当然ではないですかとコメントをいただき、その通りだと感じました。

倒壊空き家をどのように捉えているか?

一般質問の部分でも言及しました倒壊空き家の件について、本町の神社の件は、時間はかかりましたが一定の成果が出ました。市役所、町内会と共に粘り強く対応してきて良かったと思っています。ただ、私はこの案件については、真剣に取り組んで参りましたが、町内だからというだけでなく、今後空き家対策の推進において、一歩進めることが大事だと捉えていました。このよう倒壊寸前の建物は、各地にあります。私が、面談・指導・勧告・命令・強制執行のプロセスにこだわっていたのは、建物所有者にとっては、適切に管理することは義務で、除却が進み流動化が進めば、新規需要も見込めます。特に中心市街地を始め、(本郷、糸崎駅周辺を含め)新規住宅用地が確保できるとなれば、人口獲得のチャンスは広がります。

一方で活用の方にも目を向けています。先般から、商工会議所青年部・まちづくり三原・本町町内会が連携して、空き家の調査、活用を検討しています。その街歩きにも同行させていただき、現状把握並びに活用について考える機会を得ています。

今後、一地域のスレイヤーとして、一議員として何ができるかを考えて行動していきます。

9月議会補正予算に反対した理由

9月議会の補正予算に反対した理由を書きます。理由は、庁舎整備予算が補正予算で計上されていたからです。もう市庁舎整備は駐車場の工事も議会棟の解体工事も始まっています。しかし、工事の落札業者は決定されていません。すなわち入札はまだです。もしかしたら、呉市のように入札不調が起こったときに、駅前西館への移転を中心に再度検討できないかというわずかな可能性を考えています。

繰り返しになりますが、五藤市長当時の33億から現在58億になっています。(※金額は資材費も人件費も高騰していますので一概に比較できません)

ただ、確実に言えるのは市民負担が100%増えたということです。しつこいようですが、選挙で財政が厳しいので、東館に市役所を建てないと言った市長は、今は、東館に図書館を民間に建てて貰い、フロアーを10億以上で購入しようとしています。これは58億とは別の費用です。万が一、入札不調が起こるようであれば、一般質問で再考を求めます。ただし、ここまで議論は進んでおります。入札先が決まり、現在地への建て替えが本格的になれば、残念ですが議会の決定を尊重し、次回の予算からは反対しません。

今回の補正予算の私の態度については、このような考え方を持っています。これも私のこだわりです。



うちの猫にあげるエサ代が私のこづかいから出すのですが、ノラ猫ちゃんにもたまにあげてしまいます。

やらんといけん!
どんなことでも!

私のやらなければいけないこと

1. 市民の意見を聞き施策に反映する

地域の意見を聞き施策に反映することはもちろん、20代、30代、40代の若い世代の代弁者になる。また、対話会を通して活発な議論を行い、若い世代の政治参加を推進します。

2. 情報公開と双方向の議論推進

市政の情報公開の推進とともに ICT 等を積極的に活用し、双方向の議論を行う。市民の合意形成（市民が納得できる・合意できる）を重視する。また、すべての議論には多種多様な意見があり、単純に賛成・反対の議論ではなくよりよい方向に導くよう努力する。議論の先送りをしない。

3. 地域活性化の推進

地域活性化とは、「人と人とのつながり」、「生活環境整備」、「ビジネス環境整備」から人口減少を食い止める事もしくは人口増を実現する事だと考えます。人と人とのつながりは、街を元気にするためのポイントですが、それだけでは課題解決はできません。魅力を高める街づくりとして「ビジネス環境の整備」、「生活環境の整備」を推進し、「生活都市三原」の構築を行います。

4. 地域ブランド化

三原という地域が一つのブランドとして、魅力的な三原ブランドを市外に発信します。市民協働で三原ブランドを育成することにより市民の誇りを高めます。その一人の担い手として先頭に立ちます。

4 みんなの桜山活動報告です!



桜山会のメンバーさんが、気持ちを込めたメッセージパネルを作られました。



桜山会のメンバーさんと共に山をキレイにしてゆく。そこにもしっかりとまちの再生するパワーと情熱があふれているのがわかります。

毎回の報告となりますが、桜山の作業を毎月最終日曜日にやっています。今年は残念なことに植樹した木が折られるという事件が発生しました。大変な怒りがありますが、作業をしている仲間達、桜の木を植樹してくれた会員、出資者の皆様と共にめげずに桜でいっぱいになりたいと思います。ここ最近では先輩や仲間が週に2〜3回も整備に取り組んでくれています。本当に大事にしたいと思います。